取扱説明書

3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルム

日射調整フィルム
マルチレイヤーNano シリーズ

【適用範囲】

本書は以下の 3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルムに適用します。

- NANO40S
- NANO70S
- NANO70SX
- NANO80S
- NANO80SX
- NANO90S
- NANOFGIM
- NANOMAML
- NANOFGLU

【施工】

施工手順・方法は一般的な 3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルムに準じます。
室内使用（内貼り）と室外使用（外貼り）では施工場所により施工方法が異なります。
詳細は見本帳及びマニュアルなどの専用資料（※）をご参照ください。本製品に特有の注意事項は【注意事項】を参照してください。
※『ガラス用フィルム工事の施工マニュアル』（日本ウインドウフィルム工業会発行）
『3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルム及び 3M™ ファサラ ™ ガラスシェード施工手引書』
（住友スリーエム㈱ コンストラクションマーケット技術部発行）

【注意事項】

基本的な注意事項は 3M™ スコッチティント ™ ウインドウフィルムに準じます。

■製品に特有の注意事項

・Nano シリーズは表面に水滴が付くと多層膜構造に起因した光の干渉現象によって、赤く着色して見えることがあります。
・NANOFGIM、NANOMAML、NANOFGLU は、表面にハードコート層がないので、施工時にスキージーで強く圧着する際の表面保護のために、粘着面から剥がした剥離フィルムでフィルムを覆い、その上から圧着を行うとフィルム表面を傷つけることがありません。
※剥離フィルムは粘着剤が接触していた滑り性の良い面を上側にして圧着してください。
・NANOFGIM、NANOMAML、NANOFGLU は厚く、施工液の水抜けが遅いので、フィルムに充分圧力をかけることができる高硬度のプラスチックスキージーで２度圧着を行い、確実に水分を押し出してください。ただし、プラスチックスキージーはフィルムの表面を傷つけやすいので、ペーパータオルを巻いたり、剥離フィルムを敷いたりしてスキージーが直接フィルム表面と接触することのないようにしてください。
・NANOFGIM、NANOMAML、NANOFGLU は厚く、施工現場や貼付時の切断が困難なので、仕上がり不良とならないよう予め仕上がり寸法に裁断してください。

■一般的な注意事項

・ロットにより色柄に多少の差異が生じることがあるので可能な限り同一ロットを使用してください。
・製品の巾方向（左右）で色差が生じることがありますので突き合わせ貼付する場合は、同じ側の端部が突き合わせになるように貼付（テレコ貼り）してください。
・施工したガラスのフィルム表面にコーキング等の目的でマスキングテープのような粘着テープを貼り付ける際には、以下の点に注意してください。

①粘着テープの弱粘着タイプのものを使用してください。
②フィルム表面に長時間貼付しないでください。
③粘着テープを剥がす際はテープをフィルム外側に向かって出来るだけ 180°に近い角度でゆっくり剥がしてください。

■製品選定に関する注意事項

・熱割れについて
貼付するガラスと施工環境によってはガラスが熱割れを起こすことがありますので、熱割れ計算で熱割れの可能性を確認してください。
※NANO70SX 及び NANO80SX は内貼り用 NANO70S 及び NANO80S と比較して日射吸収率が高いため、熱割れの危険性が上昇します。

・ガラス以外の基材への貼付について
基本的にプラスチック基材などガラス以外の基材への貼付はお勧めしません。プラスチック基材は表面から気体が発生してフィルムの膨れや剥がれが生じることがあります。プラスチック基材へ貼付する場合は一旦プラスチック用下地調整フィルム SH2CL-P※を貼付し、その上から本製品を重ねることで使用することができます。他にも SH2FGIM-P、SH2EMOS-P の 2 製品はプラスチック基材に直接使用できます。

■使用環境（施工場所）に関する注意事項

・耐候性について
NANO70SX 及び NANO80SX 以外は屋内用であり、耐候性はありませんので屋外では使用しないでください。NANO70SX 及び NANO80SX は屋外で使用できますが、垂直面以外の傾斜面及び水平面等での品質の保証はしておりません。

・耐水性について
頻繁に水分と接触する場所(※1)ではフィルムの劣化が促進されますので、使用はお勧めしません。
一時的に結露が発生する場所では耐水プライマー（※2）を使用して貼付施工してください。
結露などによりフィルムの端部から水が浸入する可能性がある場所ではエッジシーラー（※3）を使用してください。
※1：水中、温泉、サウナ、温水プールなど結露が頻繁に発生する箇所
※2：3M 社製プライマーXB-5873
※3：3M 社製エッジシーラー#8600

・耐熱性について
一時的に 80℃になる環境では問題はありませんが、常時 80℃になる環境では使用できません。
65℃以下の環境でご使用ください。密閉空間など熱がこもりやすい場所への施工はお勧めしません。

■貼付施工に関する注意事項

・貼付推奨温度：　１０℃～３０℃
・フィルムを小径に巻くと剥離フィルムから剥離（ポップオフ）することがあります。
・剥離フィルムから部分的に剥離（ポップオフ）したまま放置した後にフィルムを貼付すると、剥離した部分に痕が残ることがあります。フィルムがポップオフしたら直ちに貼付すれば剥離痕は通常残りません。
・製品ロットにより色調に差異が生じることがあるので、異なるロット製品を隣接して貼付しないでください。
・フィルムの重ね貼りはできません。
・施工時の水分が施工完了後もしばらくガラスとフィルムの間にわずかに残り、小さな水泡が残ったりフィルム面が曇って見えたりする現象（水残り現象）が発生しますが、通常フィルムが正しく施工された場合は水分の蒸発とともに消滅します。但し、日影や気温が低い場合にはある程度日数を要することがあります。水抜けを促進するためには室内温度を上げるか、強制的に送風するなどすると短時間で水が乾燥します。
・フィルム表面にマスキングテープ（※）などを貼りつけて数時間放置した後に剥すと、条件によっては製品表面のハードコート層が剥離、脱落することがあるので注意してください。
※低粘着のマスキングテープを使用してください。
・施工液にアルカリ系洗剤を使用すると粘着剤が黄変する可能性がありますので、必ず中性洗剤をご使用ください。

■使用上の注意事項
・ フィルム表面に硬いものが接触すると表面に傷がつくことがありますのでご注意ください。
・ フィルム表面にステッカーやシールを貼ったりマジックなどで書いたりしないでください。

【輸送・保管】

・ 高温・高湿と直射日光を避け、0～38℃以下の暗所に保管し、ご購入後 1 年以内に使用してください。
※短時間であれば、多少の厳しい条件でも使用は可能ですが、変色、やけ等の外観変化や性能劣化が早まりますので注意してください。
・ 使用後のフィルムロールは、フィルムのゆるみがなくなるようにしっかり巻き締めて、端をテープで止めてフィルムがほぐれてこないようにしてください。
※フィルムの巻きがゆるいままで保管すると、剥離フィルムとフィルムの間に空気が入り、外観不具合が起きる原因になります。
・ フィルムロールは専用のポリ袋に包み、開封前と同様の状態で保管してください。
※湿気を防止することにより、製品の劣化を抑制します。
・ フィルムロールはロールの両端にキャップを取り付け、必ず宙づりの状態で専用の梱包箱へ入れて保管してください。
※一つの梱包箱には複数本ではなく、1 本のフィルムロールを収納ください。宙づりの状態でない場合、表面の傷やしわ等、外観不具合の原因となる可能性があります。
・ フィルムロールよりカット済みのシート状フィルムは、その都度、使い切るようにしてください。
※シート状では上記推奨の保管方法が難しいため、外観不具合や性能劣化の原因となる可能性があります。

【清掃／メンテナンス】

フィルム表面に汚れを付着させたままにするとフィルムの劣化が早くなります。また、汚れによって日射吸収率が高くなり、熱割れを起こす可能性があります。フィルムの性能を維持するために定期的に清掃を行なってください。清掃／メンテナンス方法の詳細については見本帳を参照してください。

■清掃時の注意点
１）ゴムスキージやぬらした柔らかい布で軽く水洗いしてください（乾拭きは厳禁です）。
２）ブラシや研磨剤などは使用しないでください。
３）付着した塗料やコーキング材などは除去してください。
４）外貼り用のフィルムをクリーニングする場合は事前に多量の水で砂やほこりを除去してください。

【廃棄】

本製品の主素材はポリエステル系樹脂です。自治体の法令／指示に従って廃棄処分してください。

製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限り当社は責任を負いません。
3M は、3M 社の商標です。

住友スリーエム株式会社
コンストラクションマーケット事業部

http://www.mmm.co.jp/cmd/scotchtint
http://www.mmm.co.jp/cmd/fasara

© 3M 2013. All rights reserved
IB- CMDSC02-05
2013/05/27